

魅力ある高校生にインタビュー

明日へ ジャンプ

No.208



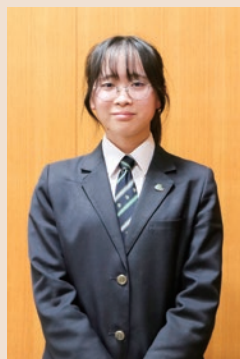
全体で一つの音をつくる 目標に向け協力する楽しさ

四ツ葉学園中等教育学校 6年 ^{まつい ゆみこ}松井 柚実子 さん

四ツ葉学園吹奏楽部で部長を務める松井さんは、トランペットを担当しています。松井さんのトランペットとの出会いには、四ツ葉学園の先輩の姿が関係していました。「小学4年生から参加した学校の金管クラブで初めは違う楽器を担当していましたが、四ツ葉学園の6年生がトランペットを吹く姿に憧れ、トランペットを始めました」

これまで自分がイメージする音を表現するために練習を重ねてきたという松井さん。昨年の夏からは部長として吹奏楽部をけん引してきました。「自分が部を引っ張りたいたいという思いで部長に立候補しました。吹奏楽はそれぞれのパートの枠を超え、全体で一つの音をつくる必要があるため、部長就任後は自分のパートだけでなく、全体を見渡して練習メニューを決めてきました」

部長として受け身にならず、積極的に部員を引っ張ることを意識してきたと語る松井さん。重ねてきた努力は、昨年参加した全日本管楽合奏コンテストの結果に表れました。「全日本管楽コンテストは、吹奏楽部として日本一を目指



プロフィール

まつい・ゆみこ
さまざまな趣味を持っており、休日は自宅で絵を描くことや粘土細工の制作、作曲などを楽しんでいると語る。両親の影響で競馬を観戦することが好きで、将来は競走馬に関わる仕事として、獣医師を目指している。

せる大会であるため、部としてこの大会で最優秀賞を取ることを目標にしてみました。私自身のミスもあり、結果は最優秀賞には届かず優秀賞となってしまうましたが、個人としても部全体としても成長を実感できた大会でした」

自身のミスを悔やみつつも、それまでの努力が報われる結果を残せたという松井さん。これまでを振り返り、吹奏楽部での充実した日々について笑顔で語ってくれました。「吹奏楽部では、大勢で一つの目標に向け協力する楽しさや、協力する中で仲間にも認められる喜びを味わうことができました。部長を務められて良かったと感じています」